

土木資材商社・東宏の社長に就任した

たぶち ゆうや
田 淵 優也さん



関連会社とのシナジー効果を最大限発揮

土木資材商社の東宏（本社・札幌）の社長に、親会社の日建リース工業（同・東京）営業本部部长から在籍出向、5月19日に就任。

「現場に必要なとされるものをお客さまと一体となって創造し、50年の歴史を持つ会社。その流れを深めつつ、日建レンタコムグループの一員として関連会社とのシナジー効果を最大限発揮したい」と抱負を語る。

1975年5月29日生まれ、48歳。長崎県佐世保市出身。98年、日建リース工業入社、熊本支店を振り出しに2014年からベトナムに約6年間海外駐在。現地大手

ひと2023

ゼネコンや進出する日本企業との取引に道筋を付け軌道に乗せた。地下鉄、火力発電所、隈研吾氏設計の高さ100m超の高級コンドムニアムへ仮設置機材の設計と供給を行い、政府機関には日本の安全基準との比較プレゼンを行うなど多彩にチャレンジした。

海外で日本の業界の取り扱う製品が造られていく過程を視察したことも大きな収穫。いかに売るかの営業が「調達：製造のサプライチェーンから戦略が始まっている。原点まで遡った思考感覚と、見聞だけではなく自分の体感から物事を判断する重要性」も痛感した。

札幌市中心部の建築案件の多さ、北海道新幹線、千歳の半導体工場と活況ぶりに目を見張り「思われた投資環境をアドバンテージに領域を広げたい」と思い描く。「社員が生きてきて未来を語る。会社経営を心に誓う。妻と中三の長女の家族3人で札幌暮らしを始めて約1カ月。「コンパクトな大都市。湿度が少なくカラッと住み心地いい」（濱崎哲也）